

ニーズ調査 インドネシア・バングラデシュ・ヨルダン・モロッコ ポストハーベスト・ロス削減のための加圧加熱食品加工技術の移転に関するニーズ調査

企業・サイト概要

- 提案企業：一般社団法人北海道食産業総合振興機構
- 提案企業所在地：北海道札幌市中央区
- サイト・C/P機関：インドネシア（東ジャワ州・農業省他）、バングラデシュ（ダッカ・HORTEX, DAM, SRDI他）、ヨルダン（アンマン・農業省他）、モロッコ（アガディール・農漁業省他）

各国の開発課題

- 飢餓・栄養不足に苦しむ国がある一方、開発途上国で生産・流通される食料の多くで、ポストハーベスト・ロスが発生（各国共通）
- 国内格差の是正と農業の近代化（インドネシア）
- 農村のインフラ整備（バングラデシュ）
- 雇用拡大及び周辺地域の安定化（ヨルダン）
- 若年層の失業率改善、地域・社会的格差の是正（モロッコ）

中小企業の技術・製品

- 農業生産段階での選別機、予冷库等の設備、日本式経営組織体（コントラクター）の導入
- 鮮度保持を活かしたパッケージング技術
- 加圧加熱食品加工技術のほか、常温流通を支える乾燥・濃縮・分離抽出等の製造技術
- 新たな健康食品開発に向けた研究技術
- 生産から加工・流通に至る“バリューチェーン”の構築

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- ポストハーベスト・ロスの基盤となる農業生産技術の改善により、農家の収入安定化につなげる（ニュービジネスとしてのコントラクターの創出（ヨルダン）、土壌汚染研究（バングラデシュ））
- 鮮度保持・加工技術の移転による付加価値向上（大豆加工食品製造モデル事業（インドネシア）、水産物開発技術センター活用事業（モロッコ）など）
- 機能性素材の開発による新商品開発（健康食品に関する共同研究（バングラデシュ・ヨルダン・モロッコ））
- 生産から販路まで一括管理するバリューチェーンの構築により、現地製造業の躍進と安定雇用につなげる（農業近代化モデル事業（インドネシア）、トマト加工バリューチェーン事業（ヨルダン）など）

日本の中小企業のビジネス展開

- 農業機器の輸出による技術移転を通じた売上拡大
- 現地生産による海外展開を通じた所得・投資拡大
- 共同研究の実施を通じた事業化による最終製品の市場投入及び輸出の促進

